SUMI−炭−
TIME

導入店レポート

千葉県初！「炭の家」現場見学会開催！

２０１１年最初の導入店レポートは千葉県のおゆみ野住宅様からスタートです！

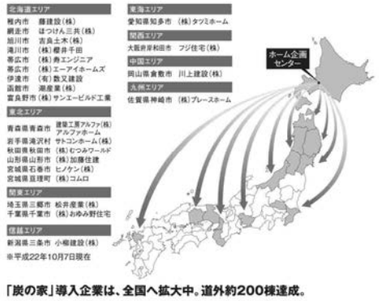
1/8～10 千葉市稲毛区にオープンした全２３区画の自社分譲地内で建設が進む「炭の家」モデルハウスで、施工途中の今しか見られない【来て！見て！体感！「炭の家」構造見学会】を開催しました。

当日は気温は低いものの快晴！初日から折込チラシを片手に沢山のお客様が来場されました。そして、初日、二日目とも新規来場から即日お申込みを頂くなど新年早々幸先の良いスタートが切れたようです。

「お客様にとって非常に良いものなので、自信を持って勧められる、今後も楽しみ」と営業の皆さんもおっしゃっていました！2月からは首都圏で広く受信されるBAYFMで炭の家CMを放送予定とのこと。

「炭の家」を足がかりに今後益々発展されるのでは！？と期待が膨らみます。楽しみですね！！

炭の家
パートナー募集中



当社ではスグに導入できる「炭の家」のライセンスパートナーを募集しております。詳しくは下記直通ダイアルまでお気軽にお問い合わせ下さい。

フロンティア事業部直通ダイアル

TEL（011)756−4824
FAX（011)756−4825

５分で読める！健康住宅で圧倒的な差別化を実現する経営者の為の情報誌

炭の家 おかげさまで 2009年新築受注 道央圏 NO.1

SUMI−炭− TIME

VOL. 17 2011
スミタイム

TOPICS

■ 緊急レポート
時代の新潮流を掴め！

■ 導入店レポート
千葉：おゆみ野住宅（株）

お知らせ

New ホームページをリニューアルしました！

昨年末、私どもフロンティア事業部のホームページがリニューアルオープンいたしました！

新しく設けた「炭ラウンジ」のページからは炭タイムのバックナンバーをご覧いただけます。

ぜひ、ご覧ください！

視察 炭の家を見に行こう！

只今、全国各地で「炭の家」を建築中！

皆様のエリアから近い導入企業様が建てた「炭の家」を私たちと一緒に見に行きませんか？ぜひ見てみたいというご要望がございましたらご案内しますので、別紙アンケート用紙にてお気軽にお申込み下さい。又、札幌（弊社）への視察も随時お申込みを承ります。

皆様からのご連絡、心よりお待ちしております。

炭の家をもっと知りたい方は ▶▶▶ ホーム企画センター 検索 http://www.homekikakucenter.co.jp/sumi1t/

株式会社ホーム企画センター
001-0038 札幌市北区北38条西2丁目1番26号　創業/昭和43年　資本金/4億9,000万円
お電話でのお問い合せやお申込の方はこちらへ！ フロンティア事業部
0120-114-119（いいよ いい空気）

■「炭タイム」Vol.17発刊のご挨拶■

２０１１年最初の発刊となりました。

本年もどうぞよろしくお願いします。

さて、新しい年が始まり、新聞や雑誌などで「2011年はこうなる！」というような記事が紙面を賑わしておりますが、私たちが従事する住宅業界にはどのような１年が待ち受けているのでしょうか！？

情報誌などによれば、長期優良住宅制度や住宅版エコポイントなどの国の施策が継続され、多少の上昇が期待できるというのが大方の予測のようですが、短期的な施策に頼り、踊らされず、落ち着いて将来を見据えた戦略を練りたいものです。

今後ますますデフレ経済が蔓延し、消費活動に積極的になれないファミリー層が多くなり、住宅を購入しにくい状況になることが予測されます。

いま私たちがやるべきことは、当たり前のことをきっちり行うとともに、新たな価値を創造する取り組みにもチャレンジしながら企業を成長させ続けることだと感じています。そんな生き残り戦略に当社の「炭の家」は、きっと力になってくれると信じております。

今年１年、まだ「炭の家」を実体験されていない方々との新しい出会いが沢山あることを願っております。

株式会社 ホーム企画センター
フロンティア事業部　古川 秀彦

緊急レポート

時代の新潮流を掴め！

『もしドラ』ブームはなぜ起こった？

昨年流行語大賞にもノミネートされ、130万部を突破したという『**もしドラ**』、購読された方も沢山いらっしゃることでしょう。

なぜ今、もしドラが驚異的に売れたり、ドラッカーの哲学が注目されるのか？ということについては雑誌やウェブ等で様々な見解を目にするところですが、もしドラの著者である岩崎氏のインタビュー記事によれば、『ドラッカーの本は組織や人間の本質を明快に説き起こしてくれるのが魅力』だと・・初めてマネジメントを読んだ時「人こそ最大の資産である」「目標は具体化しなければならない」「知りながら害をなすな」といった言葉に強い感銘を受けたそうで、『我を通さず周囲を生かせとか、具体的な目標を持てとか、間違っていることが分かっているのにそれを認めることはしてはならないとか、考えてみれば当たり前の事なのだが、まるで僕の悩みを知っていて、その答えを書いてくれている様な気がしたのを覚えている』とおっしゃっています。

また、ドラッカー本にはこんな時どうすれば良いかという答えが書いてあるハウツー本とは全く違う、あるのは『真摯であれ』という事だけだという。

住宅専門誌 新建ハウジング編集長の三浦氏も『**住宅産業大予測2011**』のなかで生き残りに必要な要素としてドラッカーの哲学に触れている。

三浦氏は『“知りながら害をなすな”これこそがプロフェッショナルの責任であり、真摯さだと思う。実は顧客のためにならない・社会のためにならないことだと知っていながら、自分の利益・自社の利益のために顧客にとって害になることを提案をしてしまうこと。意訳すると、利己的な行動はいけないということだ』と生き残りに必要な要素として取り上げている。また、昨年もうひとつのベストセラー、米ハーバード大学マイケル・サンデル教授の『**これから「正義」の話をしよう**』では利己的・個人主義で人が幸せになれるのか？を問うサンデル教授が「人が本当にもとめているもの、それを得て満足できるものが善であり、それを追求するのが正義だ」との立場を示しているとし、『この２つのベストセラーは、利己的に経済的豊かさを求める風潮に疑問を感じていた（疲れた）多くの人たちの心に響いたのではないか』というのが三浦氏の見解だ。

このような「真摯さ」「善」「利他の心」「良心」といった人の道に照らしてより正しく、善であり、より美しくありたいという概念が社会全体を覆い、あの運動へと繋がっていったのではないでしょうか？

全国に広がる『タイガーマスク運動』

2010年12月25日、「伊達直人」を名乗る正体不明の人物から、群馬県中央児童養護施設へランドセル10個が送られたことを皮切りに、全国各地の児童養護施設へ複数存在すると思われる「伊達直人」からの寄付行為が相次ぎ、差出人の名前と行動から「タイガーマスク運動」と呼ばれる現象が発生。2011年1月15日の時点で確認された寄付行為の件数は約700件にのぼり、現金や商品券だけでも2400万円となっている。前年（2010年）の全国の児童福祉施設への寄付は約4000万円なので、約2週間で半年分を超える寄付金が届いた計算になる。

wikipedia

昨年暮れの報道から一気に社会現象化した「タイガーマスク運動」には前述した美徳・善を旨とする良い生き方への潮流を垣間見る思いだが、社会学者で作家の岳真也氏は、『たしかに目頭が熱くなる美談だが、その裏には一向に暮らしが良くならない現実に不満と不安を募らせる国民感情もあると思う。“景気が良くならないのなら、自分たちで明るい社会にしてみせる”と大衆が相互扶助に走っている。社会不安が善意に駆り立てていると言ってもいいだろう』と、その裏側にある心理を考察する声もある。

ポスト資本主義経済が始まった！？

さて、ここまで取り上げてきました事例のような時代の潮流のなか、生きていく上で無くてはならない「衣食住」の住を担う私たちはどのような志を持つべきなのか？そのひとつのヒントとなるお話を、今年１月に埼玉県で開催した炭の家セミナーにゲスト講師としてご参加頂いた、コンサルタント **街づくりエイター合同会社代表の君塚俊之氏**に聞いた。

君塚氏は『21世紀に突入した現代社会では、あのドラッカーが著書の中で予測したようなネクスト・ソサエティの片鱗が少しずつ表れ始めており、資本主義の次にやって来る新たな価値観の誕生と、“母なる惑星＝地球”を喰い物にする事の無い世界の実現について、真剣に考え行動しなければならない時代に、いま私たちは生きている』と提唱されたうえで、このような21世紀にふさわしい新しい潮流があると教えてくださった・・・　　【次号へ続く】

《次号予告》

エコからエ●●ルへ！

21世紀は「良心の世紀」欲望から良心へ、人間目線のエコを戒め、もう一歩深く、いのちの支え合いを優先に自然との融合を大切にするエ●●ルとは？